役者評判記

チ-13
3851
28

安政四
丁巳春

後着旅行所 上

安政四年

手多13
1.639
135

特 門 チ 13
愛 3851
巻 28

に上

今日中沸騰

京都

設共放名所

目録

嘉永二年二月改

擔ぎ鍛の一変二変ゝ

永宿の磯 四

上下の桟敷

口淀ようの乗上ゝ

時〳〵の水主増

行人乃貸切へ

出桟敷の別食

通り札乃ごとき
目ちかくれなる
蒲團も登りゆき
換料いとゝ
三十石の義浄へ
ゆゝ見ひとよ
伏見菊乃
善悪

京都

京大坂大坂大坂大坂有馬
京四條小側京都名代鯉料理
同南側芝居名代郡方
○乃ち芝居名所ゝとゝろ方のゝ
△ゝ所ゝ市ゝ中附体ゝ猿引の類
▲客座
五三十三吉　嵐春三郎　山
久々の乃ち後ゝ人ゝ名ゝ
▲芝居茶屋
五三十三吉　嵐猿寛　角
義経ゝ
▲惣巻頭
大三十三吉　三桂大郎　角
法方ゝ
▲芝居
大三十三吉　大佛

五段上上吉　賀川延三郎　市
のもの〻ゑんとうとゝ云ふ　紙屋
五段上上吉　市川銀十郎　△
義経ゆかりの地で八百伝仰る　竹琴
五段上上吉　嵐猪三郎　小
近ごろ仕内ぶりぶりぶり

上上十

嵐壽弦　△
河雛助　△
濱尾鄭次郎　△
中村弱三郎　△
尾上多歌藏　△

上上

いろは順　濱次郎　△
市川福猿　△
嵐猿次郎　△

上上

おなじくとも　三桝代人　△
中村歌十郎　△

上上

ちゑさんはおなじくはなし　清水
市川新十郎　△
中村壽郎　小

上上

おなじくとも　市川栄蔵　△
中村政次郎　△
丹治源次郎　△
中村弱五郎　△
中村芝九　△

上上

しゐぐれもいろはなぞらへ　市川壽太郎　△
市川團三郎　△
嵐璃寛　吉
沢村訥次郎　〃
実川延三郎　〃
嵐芳三郎　△
濱尾市松　△

上上

市川團蔵 △
いづれも役者くらべ八坂
嵐璃寛 小
尾上多賀蔵 市
三升稲七 △
市川蝦蔵 △
沢村紋蔵 市
尾上多三郎 〃
嵐寛之丞 〃
中村桃蔵 〃
市川紋十郎 〃
市川壽蔵 〃
嵐志賀蔵 小
中村梅蔵 〃
市川團内 〃

上上十

いづれも役者くらべ
尾上和市 市
ちくさ流れほとさ壽滝

大上上吉

▲五段目
尾上多賀蔵 市
そうび
こぐ達の役成れまきけらご

別客

▲市川團蔵 △

至上上吉

正法ちくさ家すさ 浅尻

真上上吉

市川門蔵 △
法人ごけらごさう 少天邪

大上上吉

▲実悪巻頭
片岡市蔵 小
実盛ちくさ上の上の上の厳み

▲実悪敵役の部

上上吉　中村友三　方
上上吉　中村雀右衛門　小
上上吉　嵐冠十郎　△
上上吉　中村仲助　方
上上吉　浅尾奥山　方
上上吉　中山文八郎　小
上上吉　市川市蔵　△
上上吉　浅尾為十郎　小

上上吉　生駒宮太郎　方
上上吉　嵐金九　小
上上吉　浅尾門造　△
上上吉　相馬小六　△
上上吉　実川大八　方
上上吉　実川延若　〃
上上吉　市川蔦之助　小
上上吉　実川延若　方
上上吉　嵐大十郎　小
上上吉　浅尾五六　〃
上上吉　吉野次郎三　方
上上吉　嵐義三郎　小

上上

中村弥助 小
中村文東 吉
市川玉十郎 〃
いづれもわろびあいなく解る

上上

片岡三郎 △
市川三蔵 △
中村の〻三 △
市川助六 △
大谷福蔵 小

上上

お師匠のあとをたづねてあるいてあるくこと
坂田九郎 小
嵐弥太郎 〃
嵐璃寛 〃
市川服八 吉
市川猿蔵 小

上上士

片岡三郎 小
大谷庚蔵 〃
市川ちゑと 〃
市川小六郎 吉
浜尾与太郎 〃
三枡めく三郎 △

いづれもチトあるまいかの大家

▲若女形芸能

五上上吉

山下金作 小

いろいろの物ものをうつくしう美能

真上吉

別頭

中村歌六 吉

行後と成ても芸能世界の大家

▲若女形芸能

五上上吉

嵐三右衛門 △

上上吉　中村大吉　山
上上吉　笠川友吉　右
上上吉　市川蔦吉　△
上上吉　沢村其蓉　右
上上吉　片岡愛助　△
上上吉　中村千之助　△
上上吉　尾上栄蓉　△

上上吉　中山一徳　△
上上吉　中村物見　△
上上吉　中村芝蓉　△
上上吉　嵐猪登　右
上上吉　嵐猪熊　〃
上上吉　中村芝三郎　△
上上吉　笠川八甫　右
上上吉　笠川分吉　△
上上吉　中村歌扇　△
上上吉　片岡松蓉　△
上上吉　山下金枝　△
上上吉　瀬川源之丞　△
上上吉　嵐徳蓉　△

市川猿蔵　右
中村みの助　△
嵐猪之助　小

上上

市川猿三郎　△
中村とら江　小
中村歌一郎　△
中村友之丞　右
沢村三吉　△
浅尾虎之丞　△
嵐冠之丞　△

上上吉

実川延若　右

▲若女形芸評

大上上吉

中村市蔵　△

▲角力芸評

嵐猪之助　右
嵐弥七郎　△
市川蔦之助　右
三桝徳蔵　△
中村芝三郎　右
市川玉猿　△
嵐和佐　右
尾上多見蔵　△
浅尾他人　△
中村歌之丞　△
実川延若　他
市川松三郎　右

上上

上上

中山松八
月長政次郎
法村長谷松
中村小政
中村玉義
かや小寿
中村義市
市川り桃
市川小栄
中村物義
いづれも松ちゃ五郎の小松谷
市小義義
山下義義
岩見ちどり
中山一枝

上上

中村小乗
可福丸
たうと
たうとかくらげ
岩見三義
岩見栄次郎
小佐川義松
市川義松
中村富義
尾上物松
中山一孫
別ちかくらげ
▲角藤次郎
市川義郎
市川音義
中村物義
市川ちろん
市川ちろん
やくちの松ぶけんだ

上上

市川猿之助
市川海老蔵
市川福之助
実川延若
実川延若
三桝源之助
三桝竹之助
実川延若
浅尾為十郎
市川団十郎
中山大弥
中村鶴八
中村福之助
嵐和三郎

▲後者は西洋いづれとりたてもひすりぐる 西洋

大極大吉

▲頭取之部

嵐璃寛
市川海老蔵
嵐寛十郎
市川鰕蔵
嵐寛十郎
市川団六
嵐寛十郎
市川団六
嵐寛十郎
市川団六

▲雜部

小例〻注

一長崎花房東七　一三張　中村新兵衛
一日　冥土国千鳥　一浮　行本杉之矢
一三張　坂東宮次郎　一三張　岩〻沢照造
一文　浦村義十郎　一浮　行本代之矢
一出し　石田義貞　一三張　つる沢小市
一三張　拝や正法

角例〻注

一浮　中村芝乗　一浮　行本吉之矢
一長吹　中村勇吉　一日　行本杉之矢
一三張　拝や吉右　一三張　亀沢英男
一長　玉村親吉　一日　つる沢小市

一三張　小沢や吉右　一日　神沢宗次郎
一三張　岩沢清熊次郎　一浮　山村友吉

▲狂言作者〻部

京河七三郎
清水次郎
今泉
清水正
金史朗
京河市
京河亀
京河正治
清水正七

小側之者

南側の座

山村双鶴
玉屋玉助
井筒一泉
菓雅家浪
二条菓助
京河今三分
清水吉右
成田紀助
京河三藤助
嶺寒八郎
清水正七

千歳亀万山寿乃乐叶

宮座

至上吉口 ◎宮乱右三郎 少ズメ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ぶりの山椒漬と云ふ物は伏見辺にて
人てのみ拵ふ事なり久しく秘蔵して
他国へも拵させまじき事なり
其三杯の山椒漬と云ふ物は
山椒大こ

[協力] 大根の皮を細に切て
ゝ拵て出す上酒ゝ肴又の日是を
せうゆにて煮まゝ

[三月廿九日] 是ハ戦国の頃
大ぶ[illegible]門[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[廿九日] 二度目の茶湯
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二段ばかりの長さ
少し大きなる者ども
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
後清盛公の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

の陣 [五十九表] 与義経と安藤忠平・佐藤継信・
義経の郎等数十騎・佐藤の郎等・
伊勢の三郎・武蔵の坊弁慶・
あるいは伊勢の三郎・武蔵の坊弁慶・
あるいは伊勢の三郎・武蔵の坊弁慶・
あるいは

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三役実録頭

大上上吉 三拝大公帥 南

[役人] 役人[ヨリキ]

[役人] 役人[ヨリキ]

[役人] 役人[ヨリキ]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

安政三辰年春狂言

いろは歌櫻秀遠

都乃大夫
桜木
義
十郎
多九郎
中村大五郎
茶屋の奥山
大五郎
五郎
平六
五郎
お元
五郎

後信州於六獅

大八郎
伴三
多九郎
多九郎
三次
友三
お元
五郎
お元
五郎

次北條時頼記

伊達の伊達太郎
大五郎
五郎
五郎

切けいせい曽我譚

義
大五郎
五郎
五郎

大切奥州安達原

八幡太郎義家
久次郎
友三
大五郎
五郎
五郎

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第九十七

第九十七

第九十八

第九十八

第九十九

第九十九

第百

第百

第百一

第百一

第百二

第百二

第百三

第百三

第百四

第百四

第百五

第百五

第百六

第百六

第百七

第百七

第百八

第百八

第百九

第百九

第百十

第百十

第百十一

第百十一

第百十二

第百十二

第百十三

第百十三

第百十四

第百十四

第百十五

第百十五

第百十六

第百十六

第百十七

第百十七

第百十八

第百十八

第百十九

第百十九

第百二十

第百二十

第百二十一

第百二十一

第百二十二

第百二十二

第百二十三

第百二十三

第百二十四

第百二十四

第百二十五

第百二十五

第百二十六

第百二十六

第百二十七

第百二十七

第百二十八

第百二十八

第百二十九

第百二十九

第百三十

第百三十

第百三十一

第百三十一

第百三十二

第百三十二

第百三十三

第百三十三

第百三十四

第百三十四

第百三十五

第百三十五

第百三十六

第百三十六

第百三十七

第百三十七

第百三十八

第百三十八

第百三十九

第百三十九

第百四十

第百四十

第百四十一

第百四十一

第百四十二

第百四十二

第百四十三

第百四十三

第百四十四

第百四十四

第百四十五

第百四十五

第百四十六

第百四十六

第百四十七

第百四十七

第百四十八

第百四十八

第百四十九

第百四十九

第百五十

第百五十

第百五十一

第百五十一

第百五十二

第百五十二

第百五十三

第百五十三

第百五十四

第百五十四

第百五十五

第百五十五

第百五十六

第百五十六

第百五十七

第百五十七

第百五十八

第百五十八

第百五十九

第百五十九

第百六十

第百六十

第百六十一

第百六十一

第百六十二

第百六十二

第百六十三

第百六十三

第百六十四

第百六十四

第百六十五

第百六十五

第百六十六

第百六十六

第百六十七

第百六十七

第百六十八

第百六十八

第百六十九

第百六十九

第百七十

第百七十

第百七十一

第百七十一

第百七十二

第百七十二

第百七十三

第百七十三

第百七十四

第百七十四

第百七十五

第百七十五

第百七十六

第百七十六

第百七十七

第百七十七

第百七十八

第百七十八

第百七十九

第百七十九

第百八十

第百八十

第百八十一

第百八十一

第百八十二

第百八十二

第百八十三

第百八十三

第百八十四

第百八十四

第百八十五

第百八十五

第百八十六

第百八十六

第百八十七

第百八十七

第百八十八

第百八十八

第百八十九

第百八十九

第百九十

第百九十

第百九十一

第百九十一

第百九十二

第百九十二

第百九十三

第百九十三

第百九十四

第百九十四

第百九十五

第百九十五

第百九十六

第百九十六

第百九十七

第百九十七

第百九十八

第百九十八

第百九十九

第百九十九

第二十

第二十

第二十一

第二十一

第二十二

第二十二

第二十三

第二十三

第二十四

第二十四

第二十五

第二十五

第二十六

第二十六

第二十七

第二十七

第二十八

第二十八

第二十九

第二十九

第三十

第三十

第三十一

第三十一

第三十二

第三十二

第三十三

第三十三

第三十四

第三十四

第三十五

第三十五

第三十六

第三十六

第三十七

第三十七

第三十八

第三十八

第三十九

第三十九

第四十

第四十

第四十一

第四十一

第四十二

第四十二

第四十三

第四十三

第四十四

第四十四

第四十五

第四十五

第四十六

第四十六

第四十七

第四十七

第四十八

第四十八

第四十九

第四十九

第五十

第五十

第五十一

第五十一

第五十二

第五十二

第五十三

第五十三

第五十四

第五十四

第五十五

第五十五

第五十六

第五十六

第五十七

第五十七

第五十八

第五十八

第五十九

第五十九

第六十

第六十

第六十一

第六十一

第六十二

第六十二

第六十三

第六十三

第六十四

第六十四

第六十五

第六十五

第六十六

第六十六

第六十七

第六十七

第六十八

第六十八

第六十九

第六十九

第七十

第七十

第七十一

第七十一

第七十二

第七十二

第七十三

第七十三

第七十四

第七十四

第七十五

第七十五

第七十六

第七十六

第七十七

第七十七

第七十八

第七十八

第七十九

第七十九

第八十

第八十

第八十一

第八十一

第八十二

第八十二

第八十三

第八十三

第八十四

第八十四

第八十五

第八十五

第八十六

第八十六

第八十七

第八十七

第八十八

第八十八

第八十九

第八十九

第九十

第九十

第九十一

第九十一

第九十二

第九十二

第九十三

第九十三

第九十四

第九十四

第九十五

第九十五

第九十六

第九十六

年八洋制ありしかりしと雖も外
[illegible]
段 [illegible] 中く大段と云段のうつくしかりし
[illegible]の勅ありかたと云対面都合の
いぐとりのひかれ迄義物更対面の
せうあり [illegible] 一門一家のうちうと雖ども
[illegible]
[illegible] 一流小袖と契りうすき
へあれ食者く [illegible] 三段仕舞ありかたき物
[illegible]く [illegible] 三段物段やはりこの間の
段 [illegible] 茶碗場寸法 [illegible] 小袖
[illegible]
利く [illegible] 玉川の場次第たる報しの幕
[illegible] 中行[illegible]茶の湯が好きて
初[illegible]段の [illegible] 義[illegible]

西のうらうへ[illegible]
[illegible]
[illegible]

足利十代の頃
三代将軍義満の時
孫子
[図] 二段目民俗の図
[図] 三段目民俗の図
[図] 三段目民俗の図
[図] 三

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ヒイキ ヤレコナノ小わらやの取方〳〵

五七上書 ㊀ 寅陽社 小ゲン

ヒイキ 切ものの手拭を極と今川義元 切ものき

切ものの取方小ゲン利ものの取方小ゲン

切ものの取方小ゲン

切ものの取方小ゲン

切

切漏田川之流異坊ヶ井之の程之天ア
分已天ぐ現〳〵 [尼崎] ヨウトヤ分ヶ谷ニて
金仆陽陳之流ヤ
異坊ヶ井ぐ金ヶ之流ヤ程之流
也ヶ谷ヶ之ヶ井ぐ
ヶ一大木ヤ接ヶ之ヶ
ヶ之ヶ坊ヶ之ヶ
附ヶ井ヶ之ヶ
成ヶ井ヶ之ヶ義ヶ坊ヶ
[九] 丁ヶ銀ヶ家ヶ出ヶ
井ヶ家ヶ [川西] 佐ヶ井ヶ
ヶ稲ヶ史ヶ別ヶ
切陳ヶ清ヶ銀ヶ後ヶ
ヶ銀ヶ入ヶ
ヶ仆ヶ

[九] 付ヶ社ヶ家ヶ瓶ヶ本ヶ南ヶ [切ヶ] 奴
銀ヶ長ヶ短ヶ
ヶ外ヶ
ヶ家ヶ
ヶ家ヶ
ヶ家

上上吉 尾上松緑 △

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉 回 市川流十郎

[敷] 関東出生で江戸生まれ成長し千変万化

[敷] 二八 [場] 竹馬と歌舞

[敷] 又月家

上上吉 三枡源之助

[敷] 京都の生まれ成長し千変万化

[敷] 二八 [場] 竹馬と歌舞

[敷] 又月家

[敷] 南方場所分担

[敷] 二八 [場] 竹馬と歌舞

[illegible]切屋今三級こ山川や後ハ [illegible]茶
や切屋[illegible]のこ[illegible]く [illegible]
[illegible]
[illegible]今[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

△式外の三級の品中ハ自縁こ[illegible]

上上士一 中村玉七

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上士

中村鶴蓋

切り行形

ヒイキヤシ

切茶屋

切茶屋

切茶屋

切茶屋

切茶屋

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上上

回 市川市蔵 △

ヤレコチノ系拝やく〳〵

上上十

上上十

嵐和三郎

七月廿七日ト花ごしの空を行く

△武外の立役元中八ツ目撮元年ごと

役者部名所案内終

安政四
丁巳春

役者都名所 大坂中

大上上吉 ▲ 三役中色頃 尾上多見蔵 ち

芸は所定

役人 扇屋ぶんぶ 三月時之方の所の所の者所

やはり駕方でのの所

上ギ 行とのつく 言葉

の詳でのの所ぶんぶ役さん多ふ義絶

役人 玄長中比七郎兵衛と室五郎右衛門

お役ふ扇屋ぶんぶ

上ギ 行ふ義のよ

ようぶんぶ

義絶の所ぶんぶ

ど役とのぶ三役松ぶんぶ谷吉長二郎

ぶのふ好ふ役ぶ

義絶ぶんぶ

役人 市

義絶ぶ扇屋ぶんぶ

牡丹ふ所ぶんぶ

上吉 役者

ぶんぶの元祖名くん

の長ひ入れまゝ張安うも入れ平とも茶の
茶きうこ松松はまる平三枝の茶張すれば
ゐ前の粗茶に成ぬゝまうの井も長
さに切あるもの平せるゝ 契 三枝の
小茶こも大丸のうう切 実録 うのかゝ張へ
松松はおまの分 元切実 ちりくう
おせ茶松の付添るかゝ入るかう
どやとの長ひ入れチトの茶の井は合
入られでも丸物に松まの井も上の
の故と云ゝ張さゝとう接食の茶へ
チトまへゝが抑のまきうう
茶松ゝ入れまくと長ゝ入くもて
長ひ入れくん 切 張きと成茶切お
松まくつゝ平まる張切長きの平
ちりのまくゝ大切まゝ長ちう

の張安ゝとも切平ゝ張ゝ茶の入れ
ひまゝ 元実 松松はの茶の
茶平三枝の茶張松茶の井ねゝ
られまう張井 契 三枝の茶張ゝ心
方助 切 茶茶松ゝ張ゝ松松
茶ゝ茶付るの松の分 実録 ゝ
内松張の茶の分入ゝ茶ゝ
平分 松平ゝ松張茶茶孫方茶
茶のの茶ゝ長ゝ孫方
平の入れゝう張茶孔ちる茶味お
ちの茶ゝ張入れ茶ゝ孫
方方ちの井茶ゝ松ゝ
茶松ゝ脱ひ入ゝ天ゝ 元切実
茶茶茶張張茶茶松平茶
ちゝ大ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

別宴客

市川團蔵

△

五三桐

孔丸 初代市川團蔵の現在の三代目三桜実悪

孔丸 今ちゃのあ役人、軽妙お良を殺す

孔丸 二役の駕籠かき、実は海賊

孔丸 切る獄あるあ役人

[切分] 彼方ハ[illegible]

[切分] 二段ガ[illegible]

[切分] 切漏

[切分] 春

[切分] 切漏

[切分] 切漏

[切分] 切漏

▲実悪後見

大上上吉 ㊀㊁ 行長市蔵

敗人 敵は味方が実悪後見なれば

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉 中村義右衛門 小

[設定] 設定は設定で設定の設定と設定の設定の設定の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉 △ 関冠十郎

[説文] 見るやうなれども実は遠く下かるべしつれなき待く
三月の頃の勇花文武ともに成就の会伝多
[切] 切り捨て出三月の末に会かなどあるべ
とくるが祈せんごとく後会るれ出松ナド
まわるとこて万事でうまくいく切満開月と
[説文] 又月末出るは出
[説文] 武人は弥く 勤平の勝負は 平安なる後は一学問
[説文] 名井弥吉 おもはず 平安分 切暁
月待なかや待なかさるとこ 切美人 孤
[玉篇] いろどりはなれ みるとはなれ

[ヒイキ] やレユチノ江戸

まるこ松下出家次第 切 都 移 今 市長
さ十河平平中分 [説文] 切 都 移 今 市長
[説文] いづれも大吉なれど
ぶつ義 義 貴 打 成 ぬ 至 ぶ
[説文] 藤 打 張
うさ ぐ ぐ う の 至 紙 会 く
拍 年 去 見 迎 [説文] 切 依 会 脇
市 情 変 [切] 之 手 [説文] 勤 名 切
り 捨 文 の 名 り 味 の 物 で り 祈 こ 二 中 く
量 面 上 弦 矢 [玉篇] 会 る く 待 内 る く う
[説文] 出 新 [説文] 出 家 変 達 る 会 る
る ゆ た で 事 の 計 達 く れ 出 勤 な て 走 う
う こ 実 変 う り の 武 り 後 う と 行 す く

上上吉 中 中村仲助 [説文]

[説文] 拍 つ や 出 で ま り 祈 こ 長 人
捨 源 変 お た 弦 山 実 人 出 別 変 義

上上吉

[illegible]

上上吉　中山文殊　小

[illegible]

切り

切り

切り

上上吉

浅尾為十郎

上上吉

上上吉

山下金作

上上吉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

別頭

真上吉 中村歌六

[illegible]

[illegible]

[illegible]

義経三度勇名を揚る
青陽鳥
後関取千両のおり
一ノ谷嫁軍花
月迫沢源氏先陣鏡
月竜一法服三界
月哀紙二麻子

小春の時さ[illegible]は円の時りゝ[illegible]
近ちゝとの客[illegible]
返[illegible]
[illegible]
[illegible]

大抵ハ先ヲ切ル大力ニ成ルの[切]別ラ
ニ成ルハ[孔]ハ[孔]ハ[孔]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉　　長川友衛

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上上　市川三蝶丸

[役人] 高麗屋さんの方で[illegible]

[役人] 又川勢[illegible]

[役人] 清川[illegible]

上上吉 ⑪ 沢村長蔵

[役人] 長[illegible]

[役人] 出勤[illegible]

[役人] 出勤[illegible]

[役人] 出勤

上上十 ㊀ 行長の助 △

[敵] 秋長の弟で、千変万化の術を使う。[illegible]

上上士 ◇ 中村千之助 △

[敵] 千之丞の弟で、[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉 実川勇之助

上上吉

大上上吉 中山南枝

義安敵討後見

成程と申す事なり此天下太平の世の中なれば
なれば二度の都を建て是を
なるべき事なれば天下の人
なるべき用の限り

切り　松浦太郎殿の出合
足軽　侍用人分にて
られたり一切の出合
なれば

切り　三浦姫おきく
三浦姫おきくの出合
足軽　三浦の出合
なるべき用の
中なるべきもの
なるべき義なれば
大切なる事なれば
義なれば
三浦の出合

切り　松浦太郎殿の出合
なるべき

と指図の
足軽　どうぞ
なれば
なれば
なれば

[illegible]

[illegible]

[illegible]

流儀と流儀とを仕合せ考合せ式を弁
[天平] 結びをなす実に面白き式の意味
なり[illegible]
無除[illegible]の秘[illegible]
八中[illegible]
[illegible]
[illegible]

[切分] 十番切ハ
[切及] 二段ノ文句
[切要] 結ノ段ノ一例ナリ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

少ク〻出勤ニ成湯鍋ニ成候ハ
川ゟ　リ孫ニ成孫ニ成ハ
ハ孫ニ成候ハ
会〻一の石ニ成候ハ孫ニ成
お孫分ハ　陣や
猿ニ成ハ
ハ成ハ
鬼ニ成ハ
ハ成ハ
成ハ
ハ成ハ
ハ成ハ
ハ

安政四
丁巳春

役者都名所 下

名古屋山三

各者左段者同流

義宮殖　各代　（いさや　久七）　（稲葉や　侍八）　（松本や　郎八）

清兵衛殖　各代

△以上之段各ゆとりたるのこと

▲至　段巻別

大上吉　嵐表三郎

源八名小〻金子流の形の水

▲至　段別沢

至上吉　市川小園沢

追〻流行相撲さき　西洋横

▲至　段ろく郎

上上吉　尾上松琴

義琴御ゆとりたるのうさ　家流

上上吉　中村福助

三桝稲九

上上十四　市川市蔵

上上十　嵐雛三郎

上上十　市川福猿

上上一　坂東大十郎

上上　嵐三十郎

上上　中村一蔵

上上　嵐雛子

上上　実川正次郎

上上　市川彩蔵

上上　尾上登之助

上上　嵐市蔵

上上　中村伊左郎

上上　中村歌女蔵

上上　市川蔵之助

上上　嵐猪之助

上上　尾上和登

上上　中村猪之助

上上　市川栄之助

上上　尾上新蔵

上上十二　実川西瓜助改め実川延若

上上　中山市蔵

上上吉　相生屋小六

上上十　市川團猿

上上吉　浅尾工左衛門

上上吉　中村歌右衛門

上上一　中村芝翫

上上　中村芝翫

嵐冠次郎

三升福七

市川三蔵

市川市次郎

上上　市川團十郎

尾上菊五郎

中村門三

市川團蔵

嵐吉三郎

浅尾十六

嵐猪之助

市川寿美蔵

関三九郎

嵐吉六

上上　尾上三蔵

中村門三

市川團蔵

嵐吉三郎

市川寿美蔵

関三九郎

嵐吉六

上上吉日　市川小團次
尾上松緑

▲若女形之部

上上吉日　中村大吉

上上吉日　坂川友吉

上上吉回　市川新車

上上吉回　片岡我当

上上吉回　尾上りうは

上上一　中村のし代

上上吉日　澤川乙女

上上吉回　岩井粂蔵

上上　嵐三枝

上上　三升大猪

上上　市川三之丞

上上　中村のし代

上上　嵐二の女三

上上　嵐猪枝

▲五段巻世話　市川團蔵

▲子役　市川八百丸
中村源太郎
三升の孫弱
片岡仁左衛門
尾上金之助
中村定吉
嵐雛三郎

▲雛子役　中村任小吉

上

一長唄　清元延寿太夫　一同　杵や小三郎
一三味線　鶴沢清治郎　鶴沢清七　一同　杵や安吉
一清元　行本成方　清元延寿太夫
一三絃つる沢　市川市子

▲狂言作者　京山政助
　　清元亀介
　　清元東助

清寿院座　三升家源寿老

若宮　松浦源児
　　三升家多喜代
　　三升家多佳代
　　本坂喜代作

産　秀芝誘

▲頭取く郎

嵐表十帝
尾上七郎三郎
浅尾東蔵
三井吉東蔵
沢山好蔵
嵐雛右衛門

千歳万寿乐

▲上上吉　▲立役　嵐表三帝

[役文] 扨ようの名ハ世ちの扨落
中上井出二郎ちとしてハ浅沼家雛
[縁] 縁ハ[illegible]井 [縁] コレ扨ようの浅沼ふ
ちるのぞ [婚遠] 婚さんのぞふちるのぞ [稿九さん]
[役文] 稿九さんハ[illegible]ちや [役文] 出高
くしのれも和もくとも大雑に出ちれ
[illegible]自縁のりとあひ[illegible]ひ[illegible]ちく評
いちく井 [上イキ] ちちちく [役文] 扨出裏
出一成ちく沼表地震付出ちお
上ち表文出ハ[illegible]ち右切雑市出ち
扨表ちく沼出動ち浅ち長ち
市陽ち表今城ち雑ち逆ち上ち
表のち成長表出動彼地ち評

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[切り] 物指が矢ぶくろ大の長さ[illegible]
[illegible]
[illegible]

の分知りてさらに驚かず

切紙教諭

夫八幡の別宮なれば神の御力を今と医
者の情にさらさらに名称程
なくして安達が付きて別れ給へる程
程中納言の出羽宿の梅の花の弦
をよりて内藤付きる付所を分る

切紙

後法皇の御後をかたくなる
天人の五衰を弁ぜ

切紙

宮の方へ
とも花のの外にまつ
く出る所さこれ
藤原為長卿とは義朝とを
これをば考へ成るべきこと
とは所それ
今の一さうと仕てかうの外さこと

伊勢の方へ

切紙

八幡出勤と
為義の方へ
行事ヤレコナノ

切紙

ヤレ〳〵

▲ 義朝別頭

五上上吉 回 市川小団次

切紙

今で
いろ〳〵七八年も
伊勢の場
出勤の
と
敵の
切紙

切紙

切紙

切紙

大洋船ゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]

小家の人々の出勤する家々の門口
しるしとして小出あり
けんちゅう流りて冬入の面白きこと
る物まことにきこえ行くもとこと
動くこと云へ行くの中の
まびたるもの多くなるべくなるべ
あり業務時更に外の役者元
まひ外ぐ役人物の中へ
涙をおめぬ中に成生也

【トイキ】 足切髪
ぐ〳〵いつも今の役者又二人ばかり
【切髪】 中間くけたる
物の中間役者月
あり 【足切】 大間飯屋月見の間も美
の往来涙が長く供役七郎出三郎切
色中分 大者共多くでもあり大勝く

大入流行り狂言 【三番叟】 所番中ごと役
見迎もの分色 【足切】 ゆくて月宮ゆくの
うもひろくこの大役物を後やっ
外ご 【足髪】 宮ゆく上ゆく美 以ゆく外ゆく
見もあるうの大役とうまきゆく
ゆく 【ごうき】 切髪 浦ゆく浦ゆく
の物が長くて新髪一面ゆくゆく
外ご 【足切】 大者共外ゆく別荘髪
手ゆく出ゆく宮ゆくもまきゆく方ゆく
長ゆくゆく後ゆく
ぶ物ゆく長ゆく外の女西三
改名ゆく三ゆの雑髪ゆくゆくと
女ゆくゆく幸ゆく行ゆくのまきゆく
七ゆの侍ぶ成ゆく月成その行ゆく
【足髪】 ゆく 命ゆく 【足髪】 ゆく

上上吉

三段目

上尾上松寿

上上吉 中村福助

上上吉 三枡福助

[illegible]

[illegible]

[illegible]

筑波峯に限り別の方物品深きまでく
云中の数と為る迄 拭素性とあつむ人の乳
ぎ一大きさよりあり拭さそれをうトロくちゆう
ちまとおこ二人のご風ようく成幕のうて義
せうとうるる笑ひて這入くまつはるまく

[ヲ望] イヤ〳〵余りようにもあり拭ぬチト性
云も不面白ん孫でゆ拭さ [設文] 二段ノ分迄
源三郎利敏に限る三郎うさまいく
次ノ日中さ限義経と極メ切腹せんと
もるゆく三猿実太久保兵ちうあくびし
加と無為にて都まるく恋人の男
としてのひとゆ拭さ保付内分迄
次渦巻川の限さ一るお役もゆ拭ぬ二
段大和橋のとうるゆ入ろうく三段一ム
方助大久保中さう限チト山迄共ゆ

[ヲ望] 名拭として四ゆ付て谷ゆ拭段
吹拭りう限別の方拭ゆく変義ゆ多
く助この出合くで拭さうんゆく出
義時の義方ゆで近年の内出生
動と為ゆく [上キイ] ヤレ成弱ゆく川
○扱義時の義方ゆ拭拭ゆで拭
出義拭物るの出動ゆ拭 [好き] ヨヤ
拭ゆ人の拭ゆう [設文] 西ゆ拭ゆく拭ゆ
拭さ
者ゆ日拭ゆ清義義川出勇川
拭義ゆ信乃 [ヲ角] 大段ゆいく長
の外ゆの拭義ゆ拭ゆ
と小ゆ拭ゆ拭ゆ拭ゆ
く [ヲ望] 大塚村の限出風吉ゆ拭他の
拭拭義ゆ拭ゆ義ゆ拭ゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上上吉 ㊗ 中村大吉

▲美女形三郎

ヒイキ ヤナチノ物笑さま〳〵

ヒイキ 大男の時分男さま〳〵

ヒイキ 仁木弾正三つ目

ヒイキ 一人で二役の弁せ

ヒイキ 女の時分男さま〳〵

ヒイキ 女形三郎

ヒイキ 一人で二役の弁どんで〳〵

ヒイキ 三役の弁

ヒイキ 三役の弁

ヒイキ 二役の弁

ヒイキ 琴ひき

ヒイキ 一人で二役の弁

ヒイキ 一人で二役の弁

ヒイキ 三役の弁

ヒイキ 後ろ姿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

出勤之形式

上上吉

[略] 出勤 [ヒイキ] ヨキ人多し

[ヤシ] コヤ 八幡やく

浅川文右

[略] 芸文文化の発達する所にその

[略] 当文月

[略] 芸文文化の発達する所にその

[略] 出勤

[略] 出勤

[略] 出勤

上上吉　回　市川新車

上上吉　三

上上吉　回

▲三二 波宅性

五三上吉 ⊕ 市川図義

[波文] 市川図義ハ三河国ノ人ニテ源ノ義経ノ
[義人] 末裔ナリ[義人]ト云ハ図義ハ
[義人] 義経ノ子孫ニ成ル

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

作者　都菴可様
　　長生舎三伍

役者名前名尽

役者目録

猿若町一町目　森田勘彌
同　二町目　市村羽左衛門
同　三町目　河原崎権之助

○見るもの八十三次名所尽

▲客座　下り　市川團蔵
　　久々の出演　大井川
▲立役巻頭　門岡秋蔓
　　松島　[illegible]
▲立役巻柚　市川團次
　　いろはの大役ども　清水の次郎
▲若衆二幕附

上上吉　中村源助

上上吉　坂東彦三郎

▲五役之部

上上吉　関三十郎

上上吉　市川男女蔵

上上吉　市川新蔵

上上吉　尾上菊五郎　松尾川

上上吉　市川團三郎

上上吉　市川九蔵

上上吉　岡村紋治

上上吉　中村延雀

上上吉　嵐猿松

上上吉　坂東彦十郎

上上吉　市川雛助

上上吉　坂東彦三郎

上上吉　中村延雀

上上吉　嵐猿松

上上吉　坂東彦十郎

▲立役之部

上上吉　森田見好

上上吉　▲実興故後ノ部
故後ノ子ノ名ハ　大谷右近助
上上吉　浅尾ノ子ノ名ハ　浅尾與六
上上吉　浅尾ノ子ノ名ハ　浅尾與六
上上吉　中山帝蔵
上上吉　中村彦蔵
上上吉　中村彦蔵
上上吉　中村彦蔵
上上吉　中村彦蔵

上上　関助
故東村彦蔵
故松本小蔵
故東文太郎
故ノ子ノ名ハ　後浅右
上上　中村彦蔵
故東大次郎
故東大次郎
市川栄蔵
故東三郎
義男ノ子ノ名ハ　いざ名松
上上吉　▲若女形老沢
尾上栄蔵
故ノ子ノ名ハ　若女形老沢
▲若女形老沢

上上吉　尾ヶ三郎左衛門

▲若女形　部岩井紫三郎

上上吉　岩井紫三郎

上上吉　門岡彦之助

上上吉　市川團之助

上上吉　中村芝翫

上上　中村芝翫

上上　坂東玉三郎

上上吉　嵐小六

上上　中村芝翫

上上　坂東玉三郎

上上　尾ヶ三郎

上上　門岡彦之助

上上　岩井紫三郎

▲立役　部丹右衛門

上上　市村羽左衛門

上上　澤田源次郎

上上　森田文市

上上　関三郎

上上　坂東吉弥

上上　市村竹松

▲物忠後見
坂東長左
▲取之部
中村長次郎
三條助大郎
嶋谷とくさう
坂東松十郎
▲狂言作者之部
勝見清三
河竹新七
三升屋二三次
桜田治助
篠田浜助
市岳和助

千穂万葉乃

安政三丙辰四月五日

歌舞伎舞台撰信上

俳名中村芝雀 弘年三十七歳

おかぐさの形勢や出でゝ升ぎ
おちあのよあり
ぞ出ヒイキ分六一番の出向と
うのこと上升

一すべて彼表紙中上部
一江戸詰之人用達共先便よ
お帰り延便ゆゑ乃中川つを
お頼ん今ゝ出ん方はお詰の
方御合点ゆゑ府内出来
彫刻出来ぎ来永ゆゑ板
仕人出限詰ゆゑ改出来

辰極月　板元

大坂書林　河内屋平七
京都書林　吉野屋勘兵衛
名古屋書林　金鋼屋米藏